

## 宇都宮市立横川西小学校 第5学年児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家の人と将来について話すことがある」の肯定率は73.6%で市の平均を上回った。家族と将来のことを話し合っている家庭が多いことがわかる。今後も総合的な学習やキャリア教育で家庭と連携しながら指導していきたい。

○「食事のとき、好き嫌いをしないで食べている」の肯定率は83.9%で市の平均を3上回った。家庭や学校での食育指導が成果をあげている。今後も継続して指導していきたい。

○「勉強していておもしろい、楽しいと思うことがある」の肯定率は88.5%で市の平均を上回った。興味関心をもって勉強に取り組む、楽しいと感じられる指導を今後も工夫していきたい。

○「先生は学習のことについてほめてくれる」の肯定率は90.8%で市の平均を大きく上回った。ほめることでよさを伸ばしていけるような指導を今後も継続する。

○「毎日の生活が充実していると感じている」の肯定率は92.0%で市の平均を上回った。今後も教育相談や児童の観察を続け、児童の不安や悩みに対応することができるようにしていく。

●「家の人と学習について話をしている。」の肯定率は72.4%で市の平均を下回った。家族と将来のことを話し合っている家庭は多いが、学習についても今後話し合っていけるように呼びかけていきたい。

●「学校の宿題はやりたくなる内容だ」の肯定率は58.6%で市の平均を下回った。宿題の内容や出し方も工夫していきたい。

●「学習に対して自分から進んで取り組んでいる」の肯定率は66.7%で市の平均を下回った。自主学習ノートを使って毎日自主的に学習に取り組む児童は増えてきている。今後さらに自主性が高まるように家庭と連携しながら指導していきたい。

●「家で自分で計画を立てて勉強している」の肯定率は59.8%で市の平均を下回った。自主学習の意味や仕方を再確認し、家庭学習1時間以上の目標が達成できるように支援していきたい。

●「家でテストで間違えた問題について勉強している」の肯定率は57.5%で市平均を下回った。身に付いていないところを家庭でも必ずやり直す習慣がつくように指導を続ける。